

東通村消防団 第2分団 ポンプ車操法の部 三位入賞!

～第26回むつ・下北地区消防協会消防操法大会～

出場隊名簿

ポンプ車操法の部(第2分団)

監督者	分団長	蛇穴 路之
指揮者	団員	奥島 悟
1番員	団員	二本柳 卓
2番員	団員	畑中 貴彦
3番員	団員	林 良一
4番員	団員	高橋 隆司
補欠	団員	濱田 省吾
補助員	班長	吉田 実浩

小型ポンプ操法の部(第18分団)

監督者	分団長	渡邊 秀美
指揮者	団員	渡邊 武
1番員	団員	三国 一穂
2番員	団員	藤田 碩基
3番員	団員	佐藤 大輔
補欠	団員	三国 大喜
補助員	団員	渡邊 竜二

7月15日(日)、むつ市役所駐車場において第26回むつ・下北地区消防協会消防操法大会が開催されました。隔年で開催される本大会には下北郡内の市町村消防団が参加し、ポンプ車操法の部と小型ポンプ操法の部で消防操法の技術を競いました。東通村消防団からは、ポンプ車操法の部に第2分団(尻労地区)、小型ポンプ操法の部に第18分団(古野牛川地区)が出場しました。

第2分団(尻労地区)

第18分団(古野牛川地区)



福島第一原子力発電所事故による避難対応と教訓、復興状況

～第5回リスクコミュニケーション講演会～



井出 寿一 氏

7月22日(日)、東通村防災センターにおいて、「第5回リスクコミュニケーション講演会(主催東通村、協力(一財)日本原子力文化財団)」が開催され、村民や村内事業者など、約70人が参加しました。この講演会は、原子力災害が発生した場合には、国・県・村などの防災関係機関が連携し対応することとなることから、村民の皆さんにも、村などの指示に従い、冷静に行動していただく必要があることから、原子力に関する様々な知識を習得していただくために開催しているものです。

第5回目として、平成23年に発生した福島第一原子力発電所の事故において、住民避難などに直接関わった井出寿一氏(元福島県川内村総務課長)をお招きし、「福島第一原子力発電所事故による避難対応と教訓、復興状況」と題してご講演いただきました。



講演会の様子

再生、教訓などについて、ご自身の体験に基づいたご講演がありました。

村は、国策である原子力政策に協力するとともに、安全性の確保を大前提として、原子力との共生による村づくりを進めています。

一方、国では、本年7月に、2030年、さらには2050年を見据えた、日本のエネルギー政策の基本的な方向性を示す「エネルギー基本計画」を決定しましたが、この計画を実現するためには、解決すべき多くの課題があります。

また、原子力災害が発生した場合の対応や体制などについても、充実強化と実効性の確保に向け、更なる検討を進めています。

村では、これらの状況を踏まえ、このような講演会をはじめ、様々な取り組みをしていくこととしておりますので、今後ご理解とご協力をお願いいたします。